

「世界疫病終息・大祈禱会」に御賛同いただいた皆さまへ

5月7日以来、101日の長きにわたって、印度・中国・台湾・韓国・日本の約二百名の皆さまとともに、世界の疫病終息と争乱・飢饉未然防止のために祈願できましたこと、終生忘れえぬ大きな大きな思い出となりました。

残念ながら、このたびの新型コロナ禍は未だ終息が見えず、現在もアフリカ諸国や南米諸国に深刻な影響を及ぼしています。この災禍による経済・食糧問題が、今後、争乱・飢饉といったさらなる厄災へと結びつくことを危惧するばかりでございます。

本年は、第二世界大戦の終結から75年目の年となります。現今のコロナ禍は、この75年間、我々が目指し歩みつづけてきた方向性に大きな転換を迫る事態であろうと考えております。コロナ禍で被害を受けられた多くの皆さまや、犠牲となられた方々の命を無駄にしないためには、今後、我々が享受し続けてきた価値観・生命観に対する世界規模での再検証・再構築が必要となることでしょう。

仏教の説く「一切衆生悉有仏性」、この教説にもとづいて花開いた「草木国土悉皆成仏」の思想・生命観こそが、これから先、我々が共有すべき規範となるものと信じております。

このたびの大祈禱会にご賛同いただきました皆さまからも、種々のお声を頂戴しております。時期を見て、何らかの形でご報告できればと存じます。今後ともご意見・ご叱正をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、このたびの大祈禱会に長きにわたりご賛同・ご協力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。今後も、コロナ禍の犠牲となられた方々のご冥福と、現在罹患されている方々の一刻も平癒を、そしてコロナ禍の一刻も早い終息を日々祈りつづけてまいります。

皆さまにおかれましても、くれぐれもご自愛専一にて変わらぬご教導を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

合 掌

令和2年(2020)8月15日

発起人代表 村上圓竜 有志一同

□祈禱牘・回向牘につきましては、今後もお手元に置いていただければ幸甚に存じます。もしご返却いただく場合は、恐れ入りますが事務局宛にご返送くださいますようお願い申し上げます。

□「世界疫病終息・大祈禱会」にご参加いただきましたことを記念して、細やかながら記念の品を調整しております。9月中旬にはお手元にお届けできるかと存じますので、ご査収のほど宜しくようお願い申し上げます。